

恩田運動公園野球場夜間照明塔
劣化改修及びLED化事業
公募型プロポーザル審査報告書

令和8年7月8日

恩田運動公園野球場夜間照明塔劣化改修及びLED化事業

プロポーザル選定委員会

(事務局 宇部市観光スポーツ文化部スポーツ振興課)

恩田運動公園野球場夜間照明塔劣化改修及びＬＥＤ化事業公募型プロポーザル 審査報告書について

恩田運動公園野球場夜間照明塔劣化改修及びＬＥＤ化事業の優先交渉権者を選定するため、公募型プロポーザルを実施しましたので、その選定結果及び審査講評を以下のとおり報告します。

1 事業概要

- (1) 事業名 恩田運動公園野球場夜間照明塔劣化改修及びＬＥＤ化事業
- (2) 事業期間 契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日まで
- (3) 実施場所 宇部市恩田運動公園野球場（ユーピーアールスタジアム）
宇部市恩田町四丁目 1 番 4 号
- (4) 提案上限額 459,800,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

2 事業内容

(1) 事業目的

恩田運動公園野球場は、平成 10 年の供用開始以来、大規模な大会や練習拠点として重要な役割を担ってきた。しかし、開設から 28 年が経過し、夜間照明塔基礎部でのクラック発生や結合部の腐食等、全体的な老朽化が進行しており、安全性の確保が喫緊の課題となっている。また、既存のメタルハライドランプ及び高圧ナトリウムランプは、メーカーの生産終了に伴い今後の更新が困難な状況にある。

これらを踏まえ、施設の長寿命化を図るとともに、夜間利用の継続及び環境負荷の低減を目的に夜間照明塔の改修及び照明設備のＬＥＤ化改修を実施するもの。

(2) 事業内容

事業内容は、次に掲げるほか、企画立案から施工完了までの効果的かつ効率的な業務の遂行に必要な業務をすべて含むものとする。

- ア 本事業の施工に必要となる物品の調達
- イ 夜間照明塔改修前の各塔の劣化診断業務・設計業務
- ウ 夜間照明器具のＬＥＤ化に係る事前調査・設計業務
- エ 既設夜間照明器具の撤去工事
- オ 夜間照明器具・照明制御盤・分電盤の更新（ＬＥＤ化）工事
（照明制御盤・分電盤は既存設備の有効活用を含む）
- カ 更新した夜間照明器具及び照明制御盤（以下、「更新設備」という）の試験
- キ 夜間照明塔の改修・塗装の塗替え工事
- ク 夜間照明塔の基礎の改修

ケ 本工事で更新した設備への電源供給及び配線接続のために必要な工事
※事業内容の詳細は、「恩田運動公園野球場照明塔改修及び照明ＬＥＤ化事業に関する要求水準書（別紙）」のとおりとする

3 選定までのスケジュール

日付	実施内容
令和８年５月２７日（水）	公募、参加表明書受付、プロポーザル質問受付の開始
令和８年６月 ２日（火）	プロポーザル質問受付期限
令和８年６月 ５日（金）	プロポーザル質問書に関する回答
令和８年６月 ９日（火）	参加表明書提出期限
令和８年６月１２日（金）	参加資格の審査決定通知
令和８年６月２６日（金）	技術提案書等提出期限
令和８年７月 １日（水）	プロポーザル選定委員会 （プレゼンテーション審査及び質疑応答）
令和８年７月 ８日（水）	選定結果の通知

4 プロポーザル選定委員会の構成

恩田運動公園野球場夜間照明塔劣化改修及びＬＥＤ化事業プロポーザル選定委員会設置要綱に基づき、以下の４名の委員（委員長は互選を含む）により、公平かつ厳正に審査を実施いたしました。

委員長 観光スポーツ文化部職員

委 員 都市政策部職員

委 員 公益財団法人宇部市スポーツ協会所属者（外部委員）

委 員 宇部野球連盟所属者（外部委員）

5 選定結果

選定委員会による評価点（各委員の合計点）を集計した結果、以下のとおり優先交渉権者及び次点者を選定いたしました。

（１）優先交渉権者 東光高岳グループ

（２）次点者 A（※優先交渉権者以外のグループ名は非公表とします。）

評価点内訳

評価項目	評価の視点	優先交渉権者	次点者
地元企業の活用等 (40 点)	地元企業を積極的に活用し、その活用方法は適切であるか (40 点)	30	36
事業の進め方、体制 (80 点)	的確性、効率性、実現性の高い事業実施体制が確保され、事業に対する意欲が認められるか (20 点)	17	14
	市との連絡及び調整が速やかに行える体制となっているか (20 点)	15	15
	適切な業務計画となっているか (20 点)	18	13
	事業の効率化を図り、工期を短縮させる努力がなされているか (20 点)	16	12
事業の提案額の妥当性及び経済性 (20 点)	見積の記載内容に妥当性があり、提案額の低いことと (20 点)	12	12
事業の実施規模 (40 点)	提案内容のボリュームや費用対効果が最大化されているか (40 点)	36	26
照明塔の劣化補修作業での工夫 (60 点)	照明塔の経年劣化に応じた的確な補修・補強計画となっているか (20 点)	17	10
	照明塔の改修作業時に発生する粉塵、ゴミ、工具の破片等の飛散を防ぐ安全な計画となっているか (20 点)	15	15
	照明塔が建つ球場外周部において、大型重機（クレーン車等）の安全な配置計画や、近隣住民・周辺道路の通行者、観客席等の施設への影響（騒音・振動・通行規制）を最小限に抑える施工上の工夫がなされているか (20 点)	15	13

LED照明灯導入による効果 (60点)	LED照明灯導入による効果 (20点)	17	17
	グレア抑制や光害対策が適切になされており、周辺環境や競技者への配慮がなされているか (20点)	16	16
	電気料金の削減効果及びCO2排出削減量が具体的な数値で示され、高い環境・経済的導入効果が期待できるか (20点)	15	15
同種業務の経験・実績 (40点)	同種業務の施工実績が豊富であり、かつ難易度の高い工事を完遂した経験を有しているか (40点)	34	18
独自の工夫 (60点)	参加者の提案に独自性があり宇部市にとって有益か (60点)	48	36
総合計		321	268

※数値はすべて選定委員4名の「合計点」を記載しています。

5 審査講評

本プロポーザルには2グループからの応募があり、いずれも本市の脱炭素社会の実現や野球場照明塔の適切な維持管理、地域経済への貢献といった目的や背景を的確に捉えた、専門性と実現性の高い優れた提案内容でした。選定委員会において、省エネ・配光技術（適切な照度確保やグレア抑制等）、施工体制、維持管理、経済性などの観点から厳正に審査を行った結果、両グループとも高い技術力と独自のノウハウを有していたものの、将来の施設活用を見据えた機能性や、施工・補修における工夫及び業務の執行体制において本市の求める基準をより高く満たし、長期にわたり確実な事業効果が期待できる東光高岳グループを優先交渉権者として選定いたしました。